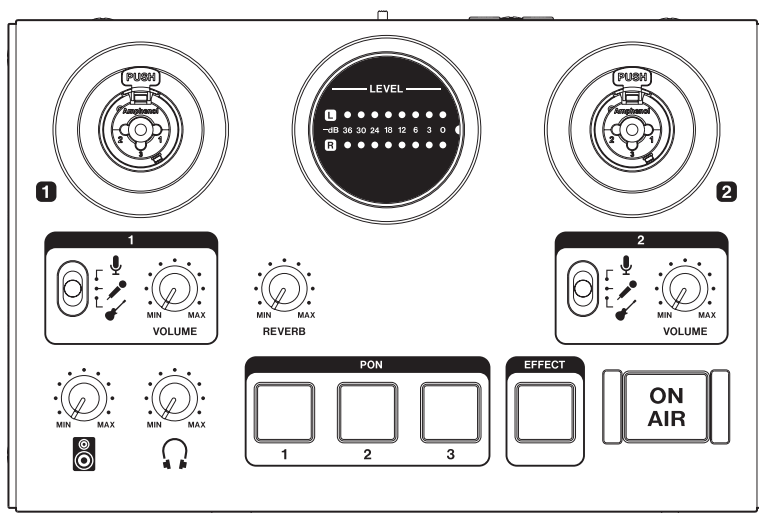


TASCAM

D01288401H








MINI STUDIO CREATOR US-42

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 禁止		万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに本体のUSBケーブルを抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。 この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。
 分解禁止		この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。 この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。
	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 指示		オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する 電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。 移動させる場合は、外部の接続コードを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
 禁止		ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。
 注意		5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

この装置は、クラスB 技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

VCCI-B

目次

安全にお使いいただくために	2
はじめに	3
本機の概要	3
本製品の構成	3
本書の表記	3
商標および著作権に関して	3
設置上の注意	4
結露について	4
製品のお手入れ	4
ユーザー登録について	4
アフターサービス	4
生放送するには	4
各部の名称	6
トップパネル	6
フロントパネル	7
リアパネル	7
専用ソフトウェアをインストールする	8
Windows 専用ソフトウェアのインストール	8
Mac 専用ソフトウェアのインストール	9
Gatekeeperについて	10
電源を接続する	11
パソコン (Windows /Mac) でご使用の場合	11
iOSデバイスでご使用の場合	11
接続図	11
パソコンの接続	12
iOSデバイス接続時	12
オーディオの接続	12
Settings Panelを開く	13
Windows	13
Mac	13
Settings Panelについて	13
Settings Panelのメニューバーの操作	13
EASYタブ画面	15
EXPERTタブ画面	16
使用目的とドライバーの組み合わせ (Windowsのみ)	19
ポッドキャストを作成する (Windowsのみ)	20
ダッキング機能を使う	20
最新情報のお知らせ機能	21
Settings Panel・ファームウェアの自動更新機能	21
アプリケーションガイド	21
Windows Media Player	21
Mac OS X と iTunes	22
トラブルシューティング	22
仕様	23
定格	23
アナログオーディオ入力定格	23
アナログオーディオ出力定格	24
コントロール入力定格	24
オーディオ性能	24
動作条件	24
Windows	24
Mac	24
iOSデバイス	24
対応オーディオドライバー	24
一般	25
寸法図	25
ブロックダイアグラム	25

はじめに

このたびは、TASCAM MiNiSTUDIO CREATORをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本機をパソコンに接続する前に、専用ソフトウェアをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

本機の概要

MINISTUDIOシリーズは、かんたん操作で音声演出を楽しめるインターネット生放送向けの家庭用放送機器（オーディオインターフェース）です。

MINISTUDIO CREATORは、MINISTUDIOシリーズの上位モデルで、生放送/制作用途の双方に対応し、マイク2本の同時使用も可能。ハイレベルな配信や制作が楽しめます。

- Windows を中心にMac/iOSデバイスにも対応したインターネット生放送専用オーディオインターフェース
- 効果音を再生するPON機能、ボイスエフェクト、リバーブ搭載で音声演出も思いのまま
- かんたんに使えるインターネット生放送専用のユーザーインターフェース
- ボーカルとギター、対談番組など様々な用途に活用できる2つの入力端子
- 動画コンテンツ制作や音楽制作に最適なCREATORモードを搭載

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストールについては、8ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本体 x 1
- USBケーブル x 1
- 取扱説明書（本書、保証書付き） x 1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のボタン/端子などを「**VOLUMEつまみ**」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「**OK**」のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「**ヒント**」、「**メモ**」、「**注意**」として記載します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAM、タスカムおよびMINISTUDIOは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、Mac OS、macOS、iPad、iPod touch、Lightning、App Store および iTunes は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- iOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化するときと結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからびきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<https://tascam.jp/jp/login>

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター（巻末に記載）が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。

- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番（MiNiSTUDIO CREATOR US-42）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げの年月日
 - お買い上げの販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

生放送をするには

パソコンの準備(専用ソフトウェアをインストール)

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードし、インストーラーの手順にしたがって、インストールしてください。詳しくは、8ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご参照ください。



[インストーラー画面]

2. ご使用のパソコンに合わせて、以下の設定を行います。

Windows の場合

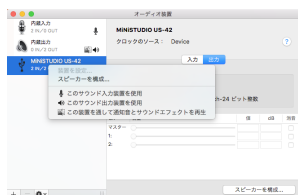
《コントロールパネル》の《サウンド》にて、《再生》タブと《録音》タブの両方で、《MiNiSTUDIO US-32/42》を《既定値に設定》に設定します。
(→ 21ページ [Windows Media Player])



Macの場合

《アプリケーション》フォルダー内の《ユーティリティ》フォルダー内にある《Audio MIDI設定》にて、《MiNiSTUDIO US-42》を《このサウンド入力装置を使用》、《このサウンド出力装置を使用》に設定します。

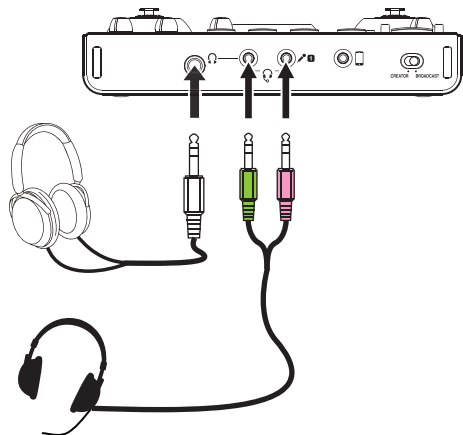
(→ 22ページ「Mac OS X と iTunes」)



本体の準備と設定

メモ

- IN 1 端子 (①) などの詳細は、6ページ「トップパネル」または7ページ「フロントパネル」を参照ください。
- CREATOR/BROADCAST切り換えスイッチ (⑩) を、「BROADCAST」にしてください。
 - IN 1 VOLUMEつまみ (④) が「MIN」になっていることを確認し、マイクを接続します。
 - コンデンサーマイクまたはダイナミックマイクの場合は、IN 1 端子 (①) にマイクを接続します。
 - マイク付き4極ヘッドホンを使用する場合は、Ω (ヘッドホン) 端子 (⑫) に接続します。
 - ヘッドセットを使用する場合は、ヘッドホンプラグを Ω (ヘッドホン) 端子 (⑫) に、マイクプラグを ㄉ (マイク) 端子 (⑬) に接続します。



- IN 1 端子 (①) に接続したマイクの種類によって、以下のように IN 1 端子入力切り換えスイッチ (⑤) を切り換えてください。

🗨️ : コンデンサーマイク (電源が必要なマイク)
🗨️ : ダイナミックマイク (電源が不要なマイク)

メモ

- マイク付き4極ヘッドホンまたはヘッドセットを使用する場合は、「🗨️」または「🗨️」のどちらかに設定されていても構いません。
- 声を出して見て、IN 1 VOLUMEつまみ (④) を、LEVELメーター (②) が緑色に点灯するまで回してください。
 - Ω (ヘッドホン) つまみ (⑥) が「MIN」になっていることを確認し、Ω (ヘッドホン) 端子 (⑫) にヘッドホンを接続してください。
生放送用途で使用する場合は、ハウリング (信号のループ) を避けるため、スピーカーは使用せずにヘッドホン、イヤホンを使用してください。
 - 声にリバーブ (響き) を効かせたい時は、REVERBつまみ (⑩) を回してください。
 - ON AIRボタン (⑬) を押して、ボタンが点灯したら準備完了です。
パソコンに音声の送りが開始されますので、配信ソフト側で配信開始の設定を行ってください。
生放送をお楽しみください。

注意

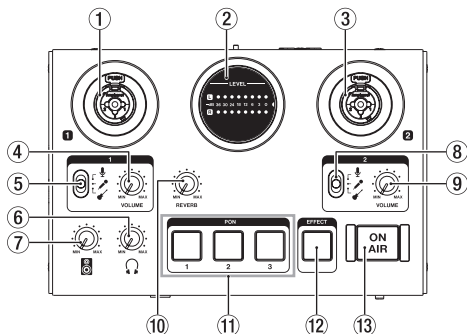
配信ソフトの各種設定は、配信ソフトのヘルプページなどをご参照ください。

その他の機能を使用したい時は、以下のページをご覧ください。

こんなことをしたい	参照ページ
ボイスエフェクトを使用したい	→ 15ページ → 16ページ
パソコンでBGMを再生したい (Windows Media Player/iTunesの場合)	→ 21ページ
効果音を再生したい (PON機能)	→ 15ページ → 16ページ
iOSデバイスで使用したい (接続)	→ 12ページ
iOSデバイスで使用したい (電源)	→ 11ページ
タブレット機器などの外部機器に入っている曲を使用したい	→ 7ページの ⑱
オーディオインターフェースとして使用したい (音楽制作・映像制作)	→ 7ページの ⑲

各部の名称

トップパネル







① IN 1 端子 [BALANCED/UNBALANCED]

XLR/TRSコンボジャックタイプのアナログ入力端子です。

ハイインピーダンス入力（ギターなどの直接入力）に対応しています。

IN 1 VOLUMEつまみ（④）で入力レベルを設定できます。

TRSジャックは、IN 1 端子入力切り換えスイッチ（⑤）により、バランスライン入力（ /  選択時）とアンバランス入力（ 選択時）の切り換えが可能です。ギターやベースなどの楽器を直接接続する場合は、IN 1 端子入力切り換えスイッチ（⑤）を「」にします。

② LEVELメーター

アナログ入力信号のレベルを表示します。





信号が入力されている時、レベルが小さすぎるまたは大きすぎる時は黄色、レベルが適切な時は緑色、歪むときは赤色に点灯します。

③ IN 2 端子 [BALANCED/UNBALANCED]

XLR/TRSコンボジャックタイプのアナログ入力端子です。

ハイインピーダンス入力（ギターなどの直接入力）に対応しています。

IN 2 VOLUMEつまみ（⑨）で入力レベルを設定できます。

TRSジャックは、IN 2 端子入力切り換えスイッチ（⑧）により、バランスライン入力（ /  選択時）とアンバランス入力（ 選択時）の切り換えが可能です。ギターやベースなどの楽器を直接接続する場合は、IN 2 端子入力切り換えスイッチ（⑧）を「」にします。

④ IN 1 VOLUMEつまみ




トップパネルの IN 1 端子（①）、マイク付き4極ヘッドホンのマイク入力（⑯）、ヘッドセット端子のマイク入力（⑰）からの入力レベルを調節します。

注意



トップパネルの IN 1 端子（①）やマイク付き4極ヘッドホンのマイク入力（⑯）、ヘッドセットのマイク入力（⑰）を同時に使用することはできません。

⑤ IN 1 端子入力切り換えスイッチ

トップパネルの IN 1 端子（①）の入カソースに応じて設定します。

-  : マイク（ファントム電源オン、+48V）
-  : マイク（ファントム電源オフ）
-  : インスト

メモ

- マイク付き4極ヘッドホンまたはヘッドセットを使用する場合は、「」または「」のどちらかに設定されていても構いません。
- TRSジャックには、ファントム電源は出力しません。

⑥ Ω（ヘッドホン）つまみ

Ω（ヘッドホン）端子（⑮）、マイク付き4極ヘッドホンの Ω（ヘッドホン）端子（⑯）、ヘッドセットのヘッドホンプラグを出力（⑰）の出力レベルを調節します。

注意




ヘッドホンを接続する前には、Ω（ヘッドホン）つまみ（⑥）を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑦ ⑧（ライン出力）つまみ

リアパネルの LINE OUT L/R 端子（⑳）の出力レベルを調節します。

⑧ IN 2 端子入力切り換えスイッチ

トップパネルの IN 2 端子（③）の入カソースに応じて設定します。

-  : マイク（ファントム電源オン）
-  : マイク（ファントム電源オフ）
-  : インスト

メモ

TRSジャックには、ファントム電源は出力しません。

⑨ IN 2 VOLUMEつまみ

トップパネルの IN 2 端子（③）からの入力レベルを調節します。

⑩ REVERBつまみ

リバーブのかかり具合を調節するつまみです。「MIN」側いっぱいに戻すとリバーブはかからない100%ドライ音に、「MAX」側いっぱいに戻すと100%ウェット音になります。リバーブの種類や詳細な設定は、Settings Panelで設定します。（→ 13ページ「Settings Panelについて」）

⑪ PON出しパッド（1/2/3）

このパッドを押すと、Settings Panelにて登録した音が再生されます。

パッドを強く押すと大きな音が、弱く押すと小さな音が再生されます。

PONの詳細な設定は、Settings Panelで設定します。（→ 13ページ「Settings Panelについて」）

⑫ EFFECTボタン

トップパネルの IN 1/IN 2 端子 (①、③)、フロントパネルのマイク付き4極ヘッドホンのマイク入力 (⑯) とヘッドセット端子のマイク入力 (⑰) に入力された音に対してエフェクト機能のオン/オフを設定します。

エフェクターの種類や詳細な設定は、Settings Panelで設定します。

(→ 13ページ「Settings Panelについて」)

⑬ ON AIRボタン

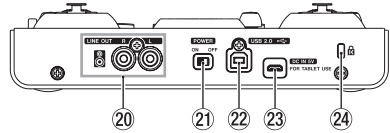
オンエアーのオン/オフを切り換えます。

CREATOR/BROADCAST切り換えスイッチ (⑲) が「BROADCAST」の時に、オンにするとボタンが点灯し、入力音 (①、③、⑯、⑰、⑱) とパソコンで再生している音 (Windows Media Playerなどで再生している音) がミックスされて、パソコンに送り返されます。CREATOR/BROADCAST切り換えスイッチ (⑲) を「CREATOR」に切り換えた時は、初期状態としてオンになります。

⑭ CREATOR/BROADCAST切り換えスイッチ

使用用途に合わせてスイッチを切り換えます。(→ 13ページ「Settings Panelのメニューバーの操作」)

リアパネル



⑮ LINE OUT L/R端子 (UNBALANCED)

アナログライン出力端子 (RCAピンジャック) です。

⑯ POWERスイッチ

電源のオン/スタンバイ状態の切り換えを行います。オンにすると、LEVELメーター (②) が一回全灯します。

⑰ USB 2.0端子

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。(USB 2.0に対応)

注意

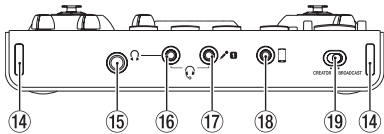
- 本機とパソコンとUSB接続で使用する場合、パソコンのUSB端子から電源を供給します。パソコンによっては、USBポートから本機を動作させるために必要な電源を供給することができない場合があります。
- USB 3.0のポートに接続時は、USB 2.0と同等な High Speed モード (最大480Mbps) で動作します。
- パソコンのサスペンドモードからの復帰後、正常に動作しない場合は、本記の電源を入れ直すか、USBケーブルの接続をし直してください。
- USB 1.1には、対応していません。

⑱ DC IN 5V端子

iOSデバイスなど本機に電源が供給できない機器と接続する場合、USB電源アダプターやモバイルバッテリーなどの電源デバイスを使用して、本機に電源を供給する必要があります。詳しくは、11ページ「iOSデバイスでご使用の場合」をご参照ください。

⑳ ケンジントンロック装着穴

フロントパネル



⑭ ストラップホルダー

⑮ (ヘッドホン) 端子 (ステレオ標準ジャック)

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。

LINE OUT L/R端子と同じ信号が出力されます。

⑯ (ヘッドホン) 端子 (ステレオミニジャック)

ステレオヘッドホンを接続するステレオミニジャックです。

マイク付き4極ヘッドホンの入出力、ヘッドセットのヘッドホン出力に対応しています。

注意

ヘッドホンを接続する前には、(ヘッドホン) つまみ (⑥) で音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑰ (マイク) 端子 (TSミニジャック)

ヘッドセットのマイクプラグを接続するためのTSミニジャックです。

注意

トップパネルの IN 1 端子 (①) やマイク付き4極ヘッドホンのマイク入力 (⑯)、ヘッドセットのマイク入力 (⑰) を同時に使用することはできません。

⑱ (外部入力) 端子 (ステレオミニジャック)

ステレオミニジャックケーブルを使用して、タブレット機器などの外部機器のライン出力端子と接続します。入力レベルの調節は、接続した外部機器の出力設定に行ってください。

専用ソフトウェアをインストールする

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

専用ソフトウェアはTASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードしてください。

- Windows パソコンは、専用ソフトウェアをインストールするとWindows 専用のドライバー、Settings Panel (アプリケーション) がインストールされます。
- Macの場合は、専用ソフトウェアをインストールするとMac専用のSettings Panel (アプリケーション)のみをインストールします。
ドライバーは、OS標準ドライバーを使用します。
- iOSデバイスの場合は、iOS標準のドライバーを使用しますので、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

注意

ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終了してからインストールを開始してください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール

注意

- パソコンと本機をUSBケーブルで、接続する前にWindows 専用ソフトウェアのインストールを完了してください。
- パソコンにWindows 専用ソフトウェアをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに《新しいハードウェアの検出ウィザード》が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール手順

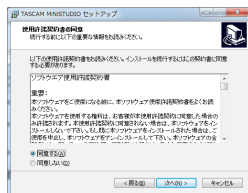
1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のWindows 専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存したWindows 専用ソフトウェア (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある《TASCAM_MiNiSTUDIO_Installer_XXX.exe》(XXXはバージョン番号) をダブルクリックすると、自動的にインストールソフトウェアが起動します。
4. 《セキュリティの警告》または《ユーザー アカウント制御》の画面が表示されますので、《はい(Y)》ボタンをクリックします。

5. 《セットアップウィザード》の画面が表示されたら、《次へ(N) >》ボタンをクリックします。

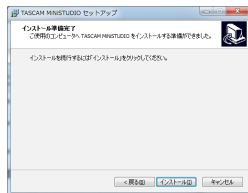


6. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができれば、《使用許諾契約の項に同意します(A)》を選択します。

次に《次へ(N)>》ボタンをクリックします。



7. 次に《インストール(I)》ボタンをクリックします。



8. 次に《インストール(I)》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



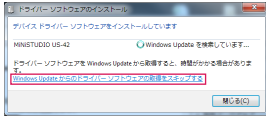
9. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。
《完了(F)》ボタンをクリックします。



10. インストーラーが終了し、Windows 専用Settings Panelが起動します。

メモ

ソフトウェアをインストール後に初めて本機をUSB接続すると、デバイスドライバのインストールが実行されます。このときWindows は、自動的にWindows Updateを検索するため、本機の接続が認識されるまでに時間がかかる場合があります。しばらくしても本機が認識されない場合、パソコンのディスプレイ右下の通知領域から、ソフトウェアのインストール画面を表示させ、《Windows Updateからのドライバーソフトウェアの取得をスキップする》をクリックして、検索を終了させてください。



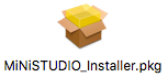
Mac 専用ソフトウェアのインストール

メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前にMac 専用ソフトウェアをインストールしてください。
- Gatekeeperの設定により、インストール中に警告画面が出ることがあります。Gatekeeperについては、「Gatekeeperについて」をご参照ください。

Mac 専用ソフトウェアのインストール手順

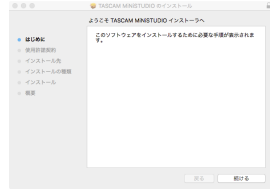
1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存したMac 専用ソフトウェアのディスクイメージファイル《TASCAM_MiNiSTUDIO_Installer_XXX.dmg》(XXXはバージョン番号) ファイルをダブルクリックし、開いたフォルダー内の《MiNiSTUDIO_Installer.pkg》をダブルクリックします。



メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

3. インストーラーが起動しますので、《続ける》ボタンをクリックします。



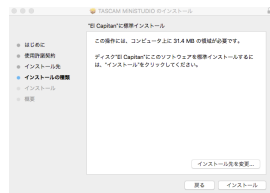
4. 次に希望の言語を選択し、《続ける》ボタンをクリックします。



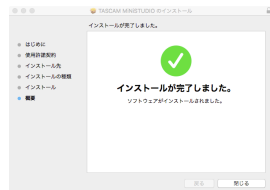
5. 《使用許諾契約を読む》ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができたなら、《同意する》を選択し、次に《続ける》ボタンをクリックします。



6. 次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《閉じる》ボタンをクリックします。



Gatekeeperについて

Mac OS Xをお使いの場合、セキュリティー機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》にしている場合

《“MiNiSTUDIO_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。》というセキュリティーの警告画面が表示されることがあります。



その場合には《OK》ボタンをクリックして警告画面を閉じた後、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから《開く》をクリックしてください。

《“MiNiSTUDIO_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか?》という警告画面が表示されますので、《開く》ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

《“MiNiSTUDIO_Installer.pkg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。》というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーから、デスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を《Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可》に変更してから再度実行してください。

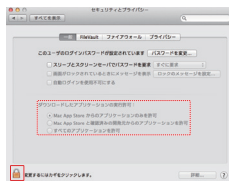
Gatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》以外にしている場合《“MiNiSTUDIO_Installer.pkg” は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか?》というセキュリティーの警告画面が表示されることがありますが、その場合には《開く》ボタンをクリックしてください。




Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の《セキュリティーとプライバシー》から《一般》タブの《ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:》項目で変更できます。

変更するには左下の《 アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



《 ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または《すべてを表示》をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティーにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティーを下げた（下にある項目に変更した）ときは、本ソフトウェアやファームウェアアップデートの終了後（ソフトウェアをインストール直後にファームウェアアップデートを行う場合はファームウェアアップデート後）に設定を元に戻してください。

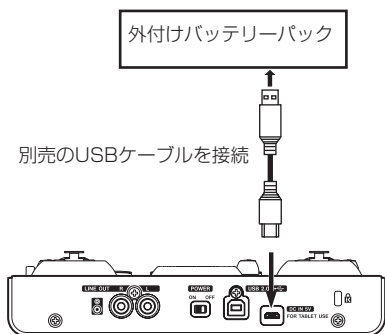
電源を接続する

パソコン (Windows /Mac) でご使用の場合

本機をパソコンに接続して使用する場合、USBバスパワーで起動しますので、他の電源デバイスを接続する必要はありません。

iOSデバイスでご使用の場合

本機をiOSデバイスに接続して使用する場合、本機に電源を供給するため、外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターなどの電源デバイスを接続する必要があります。外付けバッテリーパック (TASCAM BP-6AA) やiPadやiPhoneに付属のUSB電源アダプターを、別売のUSBケーブルと接続して、DC IN 5V端子に接続します。

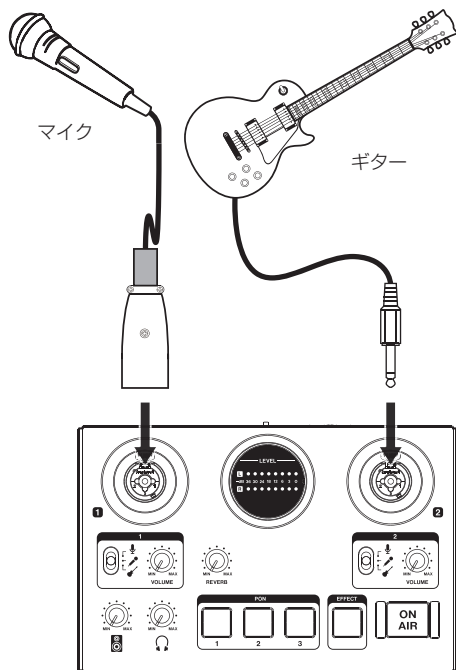


注意

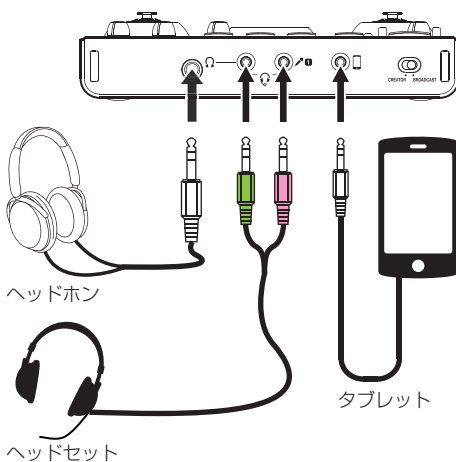
- iPod touch にはUSB電源アダプターが付属されていません。iPod touch でご使用の場合は、別途Apple純正のUSB電源アダプター (電圧5V、電流が700mA以上供給可能なもの) をご購入ください。
- 他の外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターでも動作可能ですが、外付けバッテリーパック (TASCAM BP-6AA) やApple純正のiPad/iPhone付属のUSB電源アダプターをご使用になることを強く推奨します。他の外付けバッテリーパックやUSB電源アダプターをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスをご使用ください。
 - 供給電圧：5V
 - 供給電流：700mA以上

上記の仕様以外で電源デバイスを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。異常がある場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。

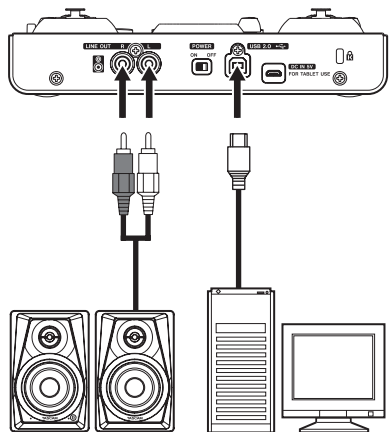
接続図



[MiNiSTUDIOを使った接続例 (トップパネル)]



[MiNiSTUDIOを使った接続例 (フロントパネル)]



RCA接続タイプの
パワードモニタースピーカー

パソコン

[MiNiSTUDIOを使った接続例 (リアパネル)]

パソコンの接続

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB3.0/USB2.0ポートに接続してください。

パワーがオンの状態で、USB接続が有効かどうかを判断するには、Settings Panelの《Device》項目で確認します。

注意

USBハブなどで本機を接続した場合、そのUSBバス上のUSB機器の影響でオーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどが発生することがあります。そのため本機の接続は、別のUSBポートに接続することを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

iOSデバイス接続時

iOSデバイスとの接続には、Lightning-USBカメラアダプタと本機付属のUSBケーブルが必要です。

オーディオの接続

マイク/ギター/外部オーディオ機器など、本機に入力されたアナログ音声信号は、デジタル信号に変換された後にUSBを経由してパソコンに送られます。

また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

注意

オーディオ機器を接続する場合には、VOLUMEつまみ (④、⑨) / (ライン出力) つまみ (⑦) / (ヘッドホン) つまみ (⑥) を下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

マイクを接続する

ダイナミックマイク

IN 1 / IN 2 端子入力切り替えスイッチ (⑤、⑧) を () に設定して、トップパネルの IN 1 / IN 2 端子 (①、③) のXLRジャックまたはTRSジャックに接続します。


コンデンサーマイク

ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、IN 1 / IN 2 端子 (①、③) のXLRジャックに接続し、IN 1 / IN 2 端子入力切り替えスイッチ (⑤、⑧) を「 」に設定してください。


注意

- 接続する前に、本機および接続する機器（パソコン/iOSデバイスを除く）の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、IN 1 / IN 2 端子入力切り替えスイッチ (⑤、⑧) を「 」に設定（ファントム電源オン）にしないでください。
- ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源をオンにした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- VOLUMEつまみ (④、⑨) / (ライン出力) つまみ (⑦) / (ヘッドホン) つまみ (⑥) を下げた状態でファントム電源のオン/オフ切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- バッテリー電源で駆動中のノートパソコンに本機を接続して、IN 1 / IN 2 端子入力切り替えスイッチ (⑤、⑧) を「 」にすると、そのパソコンのバッテリー電源の消費が早くなります。

ギターを接続する


ギターやベースギターを直接本機に接続する場合は、トップパネルの IN 1/IN 2 端子 (①、③) に接続し、その端子の IN 1/IN 2 端子入力切り換えスイッチ (⑤、⑧) を「」に設定します。

外部オーディオ機器を接続する

外部オーディオ機器などを接続する場合は、フロントパネルの  (外部入力) 端子 (⑩) に接続します。入力レベルの調節は、接続した外部機器の出力設定にて行ってください。

モニタースピーカーを接続する

モニタースピーカー (アンバランス接続タイプのパワーモニタースピーカー) は、リアパネルの LINE OUT L/R 端子に接続します。

スピーカーの音量は、トップパネル  (ライン出力) つまみ (⑦) で調節可能です。


ヘッドホンを接続する

ヘッドホンは、フロントパネルのヘッドホン端子 (⑮、⑯) に接続します。

メモ

ステレオ標準ジャックおよびステレオミニジャックからは、同じ信号が出力されます。

注意

ヘッドホンを接続する前には、 (ヘッドホン) つまみ (⑥) で音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

Settings Panelを開く

Settings Panelを使って、本機の各種機能の設定を行うことができます。また、本機のファームウェアバージョンやソフトウェアのバージョンを確認することができます。

Settings Panelを開くには、次の方法があります。

Windows

Windows 10

- Windows のスタートボタンをクリックし、**《すべて
のアプリ》** → **《TASCAM》** → **《MiNiSTUDIO
Settings Panel》** を選択する。

Windows 8.1

- スタートボタンを左クリックしてスタート画面を表示させ、さらに  ボタンをクリックして表示された《アプリ》画面において、**《TASCAM》** の下の **《MiNiSTUDIO Settings Panel》** をクリックして開きます。

Windows 7

- Windows のスタートボタンをクリックし、**《すべて
のプログラム》** → **《TASCAM》** → **《MiNiSTUDIO
Settings Panel》** を選択する。

Mac

- **《Finder》** → **《アプリケーション》** → **《MiNiSTUDIO
Settings Panel》** をクリックして、Settings
Panelを開く。

Settings Panelについて

Settings Panelには、2つのタブ画面があります。Settings Panel上部の各タブをクリックすると、選択されたタブ画面の表示になります。

- **EASY** : ドライバーの現在のステータス (状態) / 接続情報を表示します。また、各種簡易設定を行います。
- **EXPERT** : 内蔵ミキサー、内蔵エフェクターなどの詳細設定を行います。

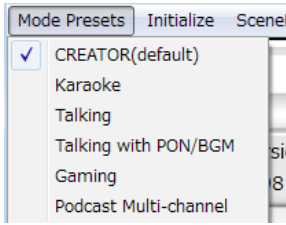
メモ

Settings Panelを開くときは最後に閉じたときの状態で開きます。

Settings Panelのメニューバーの操作

Settings PanelのEASYタブ画面または、EXPERTタブ画面とも左上にあるメニューバーの **《Mode Presets》** / **《Initialize》** / **《Scene Memory》** / **《Extra Effects》** をクリックすると、それぞれのメニュー画面を表示します。

Mode Presets (Windowsのみ)



本体のCREATOR/BROADCAST切り換えスイッチをCREATOR側に切り換えて、ご使用ください。

● CREATOR (default)

市販のDAWソフトウェアなどを使用する場合に、適した設定がプリセットされています。

● Karaoke

ネットカラオケなどを行うための設定がプリセットされています。

ASIOに対応したVSTを使用してエコーなどエフェクトを掛ける場合は、Settings PanelのASIOを《ON》にしてください。

MINI STUDIO内蔵のエフェクトをご使用になる場合は、Settings PanelのASIOを《OFF》にしてご利用ください。

● Talking

一般的なインターネット音声/ビデオ通話アプリケーションなどの会話を楽しむための設定が、プリセットされています。

● Talking with PON/BGM

本機搭載のPON機能や Windows Media Player などからのBGMを流しながら、一般的なインターネット音声/ビデオ通話アプリケーションなどで会話を楽しむための設定がプリセットされています。

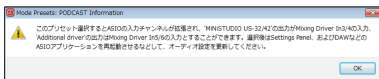
● Gaming

ボイスチャットに対応したゲームを他のプレイヤーとボイスチャットをしながら楽しんだり、ゲーム実況のライブ配信を行うための設定がプリセットされています。

● Podcast Multi-channel

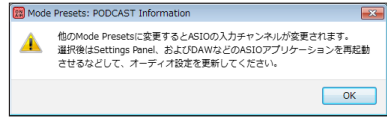
ASIOの入力チャンネルが6chに拡張されます。Mic入力 (Mixing Driver In 1/2) だけでなくWindows Driverの《MINI STUDIO US-32/42》からの出力をMixing Driver In 3/4に、《Additional driver》からの出力をMixing Driver In 5/6として割り当てて扱うことができます。

DAWを使った場合、それぞれの音声具有独立トラックに録音し、音声の調整を個別に行うことによって簡単にポッドキャスト素材を作成することができます。(→ 20ページ「ポッドキャストを作成する(Windowsのみ)」)

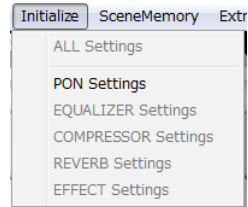


メモ

Podcast Multi-channel以外のMode Presetsではこれまで通りMixing Driver In 1/2のみです。他のMode Presetsから、または他のMode Presetsへ切り換える際は、ASIOアプリケーションを再起動させ、オーディオ設定を更新する必要があります。また、Settings Panelの再起動も行う必要があります。



Initialize



Settings Panelの状態を下記の設定にします。

● ALL Settings

EQUALIZER、COMPRESSOR、REVERB、EFFECT、PONの設定を初期値に戻し、PONのLATCHをオフ、PON音源を何もアサインされていない状態に設定します。

● PON Settings

PONのLATCHをON、PON音源を下記に設定します。
[PON 1 : NO!!]
[PON 2 : YES!!]
[PON 3 : APPLAUSE!]

● EQUALIZER Settings

EQUALIZERの設定を初期値に戻します。

● COMPRESSOR Settings

COMPRESSORの設定を初期値に戻します。

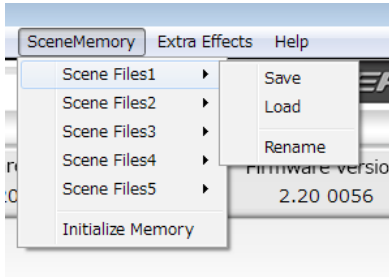
● REVERB Settings

REVERBの設定を初期値に戻します。

● EFFECT Settings

EFFECTの設定を初期値に戻します。

SceneMemory



最大5つのシーンを保存できます。各シーンは、サブメニューの **(Rename)** から任意の名前を付けることもできます。

● Scene Files 1 - 5項目

現在のSettings Panelの設定内容を、シーンメモリーに保存します。シーンメモリーは、あらかじめ5個用意してあります。

● Initialize Memory項目

シーンメモリー 5個全てを一括して初期化することができます。

詳細は、15 ページの「全てのシーンメモリーを初期化する」をご参照ください。

メモ

EXPERTタブ画面の **(BUFFER SIZE)** は、保存されません。

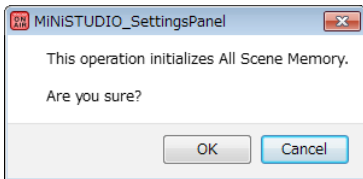
全てのシーンメモリーを初期化する

5個のシーンメモリーを、全て初期化することができます。

注意

初期化を行うと、以前の設定に戻すことはできません。

1. メニューバーの **(SceneMemory)** メニューから **(Initialize Memory)** 項目をクリックします。
2. 全てのシーンメモリーを初期化する、以下の確認メッセージが表示されます。

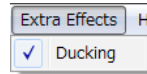


3. 画面内の **(OK)** ボタンをクリックすると、全てのシーンメモリーが初期化されます。

メモ

(Cancel) ボタンをクリックすると、5個のシーンメモリーを初期化せずにSettings Panelに戻ります。

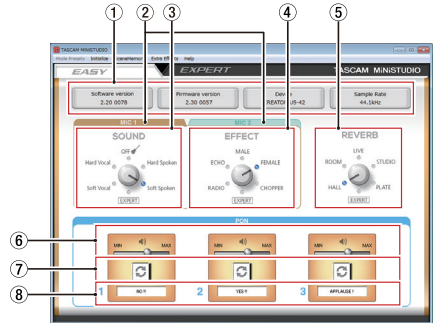
Extra Effects



● Ducking

ダッキング機能を設定するダッキング設定画面を表示します。(→ 20ページ「ダッキング機能を使う」)

EASYタブ画面



メモ

各ボタンは、ボタンをマウスでクリックしてオン/オフを設定します。

① ステータス (状態) 表示部

現在のソフトウェアのステータス (状態) を表示しています。

表示項目	表示内容
Software version	ソフトウェアのバージョンを表示。
Firmware Version	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
Device	接続中の本機の装置名を表示 (未接続時は、 (No Device) と表示されます)。
Sample Rate	サンプリング周波数を表示します。

② MIC1/MIC2タブ表示部

入力端子 (①、⑩、⑰) の **(SOUND)** と **(EFFECT)** の調節表示、または入力端子 (③) の **(SOUND)** と **(EFFECT)** の調節表示を切り換えます。

③ SOUND表示部

入力端子 (①、③、⑯、⑰) に入力された信号に対して、あらかじめ設定された音質から選択することができます。選択した音質のインジケータが点灯します。

選択肢 : Soft Vocal、Hard Vocal、OFF、Hard Spoken、Soft Spoken、EXPERT

メモ

EXPERTは、EXPERTタブ画面のCOMPRESSOR表示部とEQUALIZER表示部の設定値になります。

④ EFFECT表示部

入力端子 (①、③、⑯、⑰) に入力された信号に対して、あらかじめ設定されたエフェクトから選択することができます。選択したエフェクトのインジケータが点灯します。

選択肢 : RADIO、ECHO、MALE、FEMALE、CHOPPER、EXPERT

メモ

EXPERTは、EXPERTタブ画面のEFFECT表示部の設定値になります。

⑤ REVERB表示部

入力端子 (①、③、⑯、⑰) に入力された音源に対して、あらかじめ設定された響き (リバーブ) から選択することができます。

選択した響き (リバーブ) のインジケータが点灯します。

選択肢 : HALL、ROOM、LIVE、STUDIO、PLATE、EXPERT

メモ

EXPERTは、EXPERTタブ画面のREVERB表示部の設定値になります。

⑥ PON出力スライドボリューム

PONを再生する音量を調節します。スライドボリュームを《MIN》側にするとミュート (消音)、《MAX》側にすると信号を増幅します。

⑦ リピートボタン

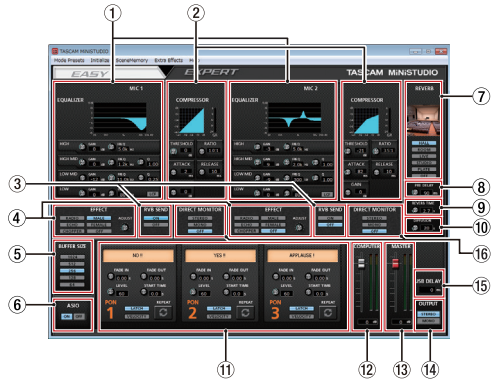
リピートボタンをオンにすると、ボタンの矢印部分が点灯しPONのリピート機能が有効になります。

⑧ PON状態表示部

音源ファイルを読み込むためには、ドラッグ&ドロップします。

- PON出しパッド (1/2/3) に音源ファイルが読み込まれているときは、《PON状態表示部》に読み込んだ音源ファイルのファイル名を表示し、オレンジ色に点灯します。
- 音源ファイルが読み込まれているが音源ファイルに問題があるときは、《PON状態表示部》に読み込んだ音源ファイルのファイル名を表示し、グレーアウト表示します。
- 音源ファイルが読み込まれていない時は、《PON状態表示部》がグレーアウト表示になります。

EXPERTタブ画面



注意

□ (外部入力) 端子 (⑯) には、EQUALIZER/COMPRESSOR/REVERBが効きません。

メモ

- 各つまみは、つまみをマウスでクリックしたまま、上下に動かし (ドラッグ) て設定します。
- 各ボタンは、ボタンをマウスでクリックしてオン/オフを設定します。

① EQUALIZER表示部

本機には、4バンド (HIGH/HIGH MID/LOW MID/LOW) のイコライザーが搭載されています。

イコライザーは、特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。

(→ 17ページ「EQUALIZER (4バンドイコライザー) 表示部の詳細」)

② COMPRESSOR表示部

入力音量がスレッシュホールドレベルを超えた場合に、コンプレッション (音量の変化幅を圧縮) し、音量のバラつきを抑えます。

たとえば、発音時のレベルの高い部分を潰して全体のレベルをそろえ、減衰音のレベルを持ち上げることによって伸びのある音にすることができます。

(→ 18ページ「COMPRESSOR表示部の詳細」)

メモ

コンプレッサーがオフのときは、コンプレッサーのカークは表示しますが、メーターの表示はしません。

③ RVB SEND表示部

《OFF》以外の⑦ リバーブタイプ選択スイッチを選択しているとき、マイクのリバーブをオン/オフすることができます。

選択肢 : ON (初期値)、OFF

④ EFFECT表示部

入力端子 (①、③、⑯、⑰) に入力された信号に対して、あらかじめ設定されたエフェクトから選択することができます。また、**《BALANCE》** つまみでドライ/ウェットのバランスが調節できます。
(→ 18ページ「EFFECT表示部の詳細」)

⑤ BUFFER SIZE 設定表示部 (Windows のみ)

本機のWindows 専用ドライバーは、パソコンとやりとりするオーディオ信号を一時的にバッファーに蓄えています。このバッファーサイズは、調節が可能です。バッファーサイズが小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。

他のシステム操作を行った場合などに処理が間に合わない、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。バッファーサイズを大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディオ信号の遅れが大きくなります。

本機ではユーザー環境に合わせて、パネル上のボタンでバッファーサイズを調節することができます。

選択肢: 1024、512、256、128、64

⑥ ASIO 設定表示部 (Windows のみ)

ASIOの使用の有無を設定します。

本機に入力された信号に対して、ASIO対応のプラグインを使用する場合は**《ON》**にしてください。

選択肢: ON、OFF

注意

設定を**《ON》**にしたまま、ASIO対応のプラグインを使用しないと入力音は出力されません。

⑦ リバーブタイプ選択スイッチ

リバーブタイプを選択します。

リバーブタイプによって残響音の密度やレベルが変化します。

選択肢: HALL、ROOM、LIVE、STUDIO、PLATE、OFF

⑧ PRE DELAYつまみ

初期反射音の遅延時間を設定します。

値が大きいほど、広い空間の反射音となります。

設定範囲: 0ms ~ 250ms

⑨ REVERB TIMEつまみ

残響音の持続時間を設定します。

値が大きいほど残響音が長く持続します。

設定範囲: 0.1s ~ 10s

⑩ DIFFUSIONつまみ

残響の広がり具合を設定します。

設定範囲: 0 ~ 100

⑪ PON表示部

PONの詳細設定を行います。

(→ 19ページ「PON表示部の詳細」)

⑫ COMPUTERフェーダー

パソコンからの信号の戻り量を調節します。

調節した値が、フェーダーノブの下側に表示されます。

⑬ MASTERフェーダー

出力信号のレベルを調節します。

調節した値が、フェーダーノブの下側に表示されます。

⑭ OUTPUT 設定表示部

《MASTER》 から出力される信号のモノラル/ステレオを設定します。

選択肢: STEREO、MONO

⑮ USB DELAY 設定表示部

生放送配信において画像キャプチャのレイテンシーにより動画と音声にズレが生じることがあります。

USBから出力する音声に対して、意図的にディレイを加えることで、ズレを解消できる場合があります。

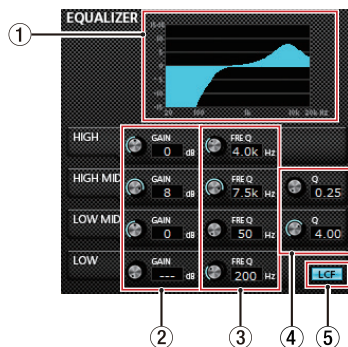
設定範囲: 0ms - 2000ms

⑯ DIRECT MONITOR 設定表示部

《MASTER》 から出力される信号のモノラル/ステレオを設定します。

選択肢: STEREO、MONO、OFF

EQUALIZER (4バンドイコライザー) 表示部の詳細



メモ

- 各つまみは、つまみをマウスでクリックしたまま、上下に動かし (ドラッグ) て設定します。
- 各ボタンは、ボタンをマウスでクリックしてオン/オフを設定します。

① EQグラフ表示

現在のイコライザー設定の周波数特性を表示します。EQグラフは、イコライザーがオフのときも表示されます。

② GAINつまみ (HIGH/HIGH MID/LOW MID/LOW)

HIGHバンド/HIGH MIDバンド/LOW MIDバンド/LOWバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲: ± 12 dB (初期値: 0dB)

③ FREQつまみ (HIGH/HIGH MID/LOW MID/LOW)

HIGHバンド/HIGH MIDバンド/LOW MIDバンド/LOWバンドのカットオフ周波数を設定します。

設定範囲

HIGH : 1.7kHz ~ 18.0kHz (初期値 : 5kHz)
HIGH MID : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値 : 1.2kHz)
LOW MID : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値 : 300Hz)
LOW : 32Hz ~ 1.6kHz (初期値 : 80Hz)

④ Qつまみ (HIGH MID/LOW MID)

HIGH MIDバンド/LOW MIDバンドの尖鋭度 (尖り具合) を設定します。

値が大きいほど尖った特性になり、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、広い範囲の帯域に作用します。

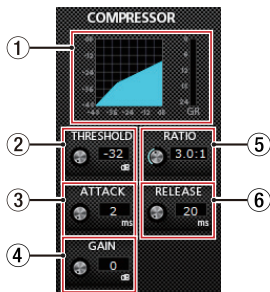
設定範囲

HIGH MID : 0.25 ~ 16.00 (初期値 : 1.00)
LOW MID : 0.25 ~ 16.00 (初期値 : 1.00)

⑤ LCFボタン

LCFボタンをクリックすると、LCFボタンが点灯し低域の雑音などをカットするローカットフィルター機能が有効になります。(初期値 : オフ)

COMPRESSOR表示部の詳細



メモ

- 各つまみは、つまみをマウスでクリックしたまま、上下に動かし (ドラッグ) で設定します。
- 各ボタンは、ボタンをマウスでクリックしてオン/オフを設定します。

① コンプレッサー状態表示

コンプレッサーの入力信号レベル (INPUT) と出力信号レベル (OUTPUT)、およびゲインリダクションレベル (GR) の3種類のメーターで状態を表示します。

② THRESHOLDつまみ

コンプレッサーをかけ始めるレベル (スレッシュホールドレベル) を調節します。

設定範囲 : -32dB ~ 0dB (初期値 : 0dB)

③ ATTACKつまみ

入力音量がスレッシュホールドレベルを超えた場合に、**RATIO**つまみで設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。

設定範囲 : 2ms ~ 200ms (初期値 : 2ms)

④ GAINつまみ

出力音量の増幅幅を設定します。コンプレッサーでは音量の圧縮を行うため、入力音に比べ出力音のレベルは低くなります。**GAIN**つまみで出力音を増幅させることにより、入力音に近いレベルに戻すことができます。

設定範囲 : 0dB ~ 20dB (初期値 : 0dB)

⑤ RATIOつまみ

入力音量の圧縮率を設定します。右へ回すほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。

設定範囲 : 1.0 : 1 ~ inf : 1 (初期値 : 1.0 : 1)

⑥ RELEASEつまみ

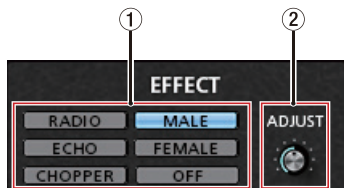
入力音量がスレッシュホールドレベルより下がった後、圧縮が解除され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。

設定範囲 : 10ms ~ 1000ms (初期値 : 10ms)

メモ

コンプレッサーがオフのときは、コンプレッサーのカーブは表示しますが、メーターの表示はしません。

EFFECT表示部の詳細



メモ

- 各つまみは、つまみをマウスでクリックしたまま、上下に動かし (ドラッグ) で設定します。
- 各ボタンは、ボタンをマウスでクリックしてオン/オフを設定します。

① EFFECTタイプ選択スイッチ

入力端子 (①、③、⑩、⑰) に入力された信号に対して、あらかじめ設定されたエフェクトから選択することができます。

選択肢 : RADIO、ECHO、MALE、FEMALE、CHOPPER、OFF

② ADJUSTつまみ

音の変化具合を調節します。右側に回すと音の変化が大きくなります。

PON表示部の詳細



メモ

- 各つまみは、つまみをマウスでクリックしたまま、上下に動かし（ドラッグ）で設定します。
- 各ボタンは、ボタンをマウスでクリックしてオン/オフを設定します。

① PONの状態表示

音源ファイルを読み込むためには、ドラッグ&ドロップします。

- PON出しパッド（1/2/3）に音源ファイルが読み込まれているときは、**《PON状態表示部》**に読み込んだ音源ファイルのファイル名を表示し、オレンジ色に点灯します。
- 音源ファイルが読み込まれているが音源ファイルに問題があるときは、**《PON状態表示部》**に読み込んだ音源ファイルのファイル名を表示し、グレーアウト表示します。
- 音源ファイルが読み込まれていない時は、**《PON状態表示部》**がグレーアウト表示になります。

② FADE INつまみ

PONのフェードイン時間を設定します。

設定範囲：0.00 ～ 5.0s（初期値：0.00s）

③ LEVELつまみ

PONの再生する音量を調節します。

設定範囲：0 ～ 100（初期値：60）

④ FADE OUTつまみ

PONのフェードアウト時間を設定します。

設定範囲：0.00 ～ 5.0s（初期値：0.00s）

⑤ START TIMEつまみ

PONの再生開始位置を設定します。

設定範囲：0.0 ～ 5.0s（初期値：0.0s）

⑥ REPEATボタン

リピートボタンをオンにすると、ボタンの矢印部分が点灯しPONのリピートが有効になります。

初期値：オフ

⑦ LATCH/UNLATCHボタン

本体のPON出しパッド（1/2/3）の動作を決めます。オンにするとボタンが点灯します。

- LATCH : PON出しパッド（1/2/3）を押すと再生、もう一度押すと停止します。次に押した時は、最初から再生します。
- UNLATCH : PON出しパッド（1/2/3）を押している間、再生します。離すと停止します。次に押した時は、最初から再生します。

⑧ VELOCITYボタン

本体のPON出しパッド（1/2/3）の動作を決めます。オンにすると、**《VELOCITY》**が点灯し、以下のようになります。

初期値：オフ

オン : PON出しパッド（1/2/3）を押した時の強弱に応じてPONを再生する音量が変わります。

オフ : PON出しパッド（1/2/3）を押した時の強弱に関係なくLEVELつまみで設定した音量で再生します。

使用目的とドライバーの組み合わせ (Windowsのみ)

	DAWなどで選択するASIOドライバー	サウンドの既定デバイス
録音用途を中心にDAWなどを使用する場合	MINI STUDIO US-32/42 ASIO*	Basic driver US-42*
再生用途を中心にDAWなどを使用する場合	MINI STUDIO US-32/42	MINI STUDIO US-32/42
生放送/カラオケに使用する場合	Mixing Driver	

* ご使用の環境によってはパフォーマンスが向上することがあります。

メモ

《Additional driver US-32/42》は、メジャーな通話アプリに対応するためのものです。

ポッドキャストを作成する (Windowsのみ)

本機の機能を使ってポッドキャストを作成することができます。

メモ

ポッドキャスト機能を使用するにはDAW (Digital Audio Workstation) などASIO入力に対応したソフトウェアが必要です。

1. Settings PanelのMode Presetsから**《Podcast Multi-channel》**を選択します。
2. DAWを起動し、ASIOデバイスとして**《MiNiSTUDIO US-32/42 Mixing Driver》**を選択します。
3. 新規に3つのDAWトラックを作成し、それぞれ次のように入力を割り当てます。
DAWにてモニター機能を有効にすることによって任意のトラックのモニターができます。

トラック1	Mixing Driver In 1/2	Mic 1/2からの入力
トラック2	Mixing Driver In 3/4	Windows driver : MiNiSTUDIO US-32/42からの出力
トラック3	Mixing Driver In 5/6	Windows driver : Additional driverからの出力

例えば、本体の入力にマイクを接続し、Windowsの既定デバイスを**《MiNiSTUDIO US-32/42》**、一般的なインターネット音声/ビデオ通話アプリケーションの入出力デバイスを**《Additional driver》**としている場合、各トラックのモニターを有効にすると次の入力音をモニターすることができます。

トラック1	MiNiSTUDIO マイク入力からの音声
トラック2	Windowsで再生している音楽やPONサウンド
トラック3	通話アプリケーションからの相手の声

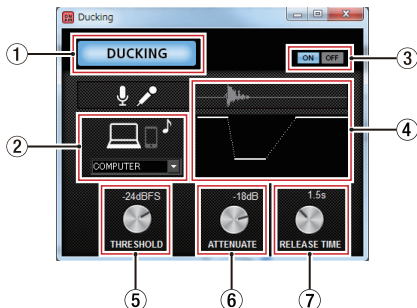
メモ

複数の同時通話のゲストからの音声は、1つのオーディオトラックに統合されます。

4. DAWにて録音する。
5. 各トラックにて音声バランスの調整やエフェクト、不要部分のカットなどの編集をして、1つのポッドキャストに仕上げます。

ダッキング機能を使う

ソフトウェアおよびファームウェアをVer.2.0以降にバージョンアップすることにより本機能をご使用できます。本機能は、パソコンで再生しているBGMや本体フロント部のAUX端子から入力しているBGMなどの音量をマイクの入力に合わせて自動的に下げることができます。Settings Panel上部の**《Extra Effects》**メニューからダッキング設定画面を呼び出します。まずは、BGMをどこから入力しているか選択し**《THRESHOLD》**つまみを設定してください。その後必要に応じて**《ATTENUATE》**つまみ/**《RELEASE TIME》**つまみを設定してください。



① DUCKINGインジケータ

ダッキング機能がオンのとき、インジケータが点灯します。

② ダッキング対象表示部

ダッキング対象を選択します。

Macでご使用になる場合は、AUXのみの選択となります。

選択肢	内容
COMPUTER	パソコン上で再生しているBGMを対象とします。
AUX (初期値)	AUX入力されているBGMを対象とします。
COMPUTER/AUX	両方を対象とします。

③ ダッキング機能ON / OFFボタン

ダッキング機能のオン/オフを設定します。

④ イメージ描画

《ATTENUATE》つまみと**《RELEASE TIME》**つまみの設定に合わせて、ダッキングのレベル変化のイメージを表示します。

⑤ THRESHOLDつまみ

マイク入力が設定したレベルを上回るとダッキングが動作します。

小さいマイク入力音にダッキング機能を使いたい場合は、このパラメーターの設定値を小さく (-30dBFSが最小) します。

設定値: 0dBFS、-6dBFS、-9dBFS、-12dBFS、-15dBFS、-18dBFS (初期値)、-21dBFS、-24dBFS、-27dBFS、-30dBFS

⑥ ATTENUATEつまみ

設定したレベルだけBGMの音量レベルを下げます。

設定値：0dB、-3dB、-6dB、-9dB、-12dB(初期値)、
-18dB、-24dB、-27dB、-30dB

⑦ RELEASE TIMEつまみ

マイク入力がTHRESHOLDを下回って、BGMの音量をもとに戻すまでの時間を設定します。

設定値：0.1s、0.5s、1.0s、1.2s、1.5s、1.8s、
2.0s(初期値)、2.5s、3.0s、3.5s、4.0s、
4.5s、5.0s

最新情報のお知らせ機能

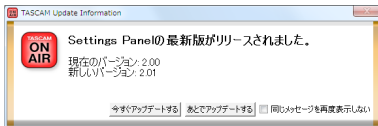
お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時のお知らせが表示されます。

メモ

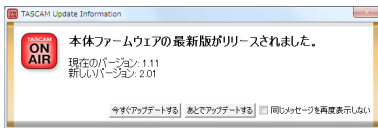
「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回から起動時に同じメッセージを表示しないようにできます。

Settings Panel・ファームウェアの自動更新機能

新しいバージョンのSettings Panelおよびファームウェアがリリースされた場合、お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時に自動更新案内が表示されます。



[Settings Panelの更新の場合]



[ファームウェアの更新の場合]

最新のSettings Panel /ファームウェアをご使用になりたい場合、「今すぐアップデートする」ボタンをクリックしてください。

ファイルが自動的にダウンロードされ、更新ソフトが起動します。

更新したくない場合、あとで更新したい場合は、「あとでアップデートする」ボタンをクリックして更新ウィンドウを閉じてください。

メモ

- 「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェック (✓) することで、次回から起動時に同じウィンドウを表示しないようにできます。
- 更新ウィンドウを閉じたあとでも、メニューバーの Help → Updateを選択することで再び更新ウィンドウを表示させることができます。
- ファームウェアを更新後、本体の電源を入れ直してください。

アプリケーションガイド

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせる場合の各設定方法を紹介します。

Windows Media Player

- OSのコントロールパネルを開きます。

メモ

コントロールパネルは、下記の方法で開きます。

Windows 10/Windows 8.1

Windows のスタートボタンを右クリックし、《コントロールパネル》を選択。

Windows 7

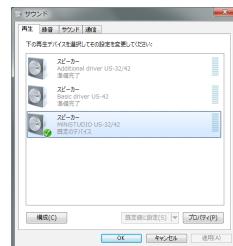
Windows のスタートボタンを左クリックし、スタートメニュー上の《コントロールパネル》を選択。

- コントロールパネル内の《サウンド》をダブルクリックして開きます。

メモ

コントロールパネルの表示方法を《アイコン》に設定すると《サウンド》アイコンが表示されます。

- 《再生》タブ画面の《MINI STUDIO US-32/42》を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の《既定のデバイスとして設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマーク (✓) が選択したデバイスに移動します。



[Windows 8.1 の場合の画面]

メモ

- 本機を録音デバイスとして使う場合には、《再生》タブ画面と同様に《録音》タブ画面も既定のデバイスに設定してください。
- 《Additional driver US-32/42》は、メジャーな通話アプリに対応するためのものです。通常は《MINI STUDIO US-32/42》を既定のデバイスに設定して問題ありません。

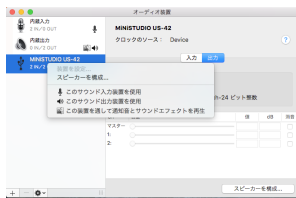
4. 設定が終了したら、《OK》ボタンをクリックします。
5. Windows Media Player を起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Player を起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player 側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Player を再起動してください。
- 上記設定/操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。

Mac OS X と iTunes

1. 《アプリケーション》フォルダー内の《ユーティリティ》フォルダー内にある《Audio MIDI設定》をダブルクリックし、《オーディオ装置》画面を開きます。
2. 《MiNiSTUDIO US-42》をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら《MiNiSTUDIO US-42》をクリックして表示されるポップアップメニュー内の《このサウンド出力装置を使用》をクリックします。
スピーカーのマークが《MiNiSTUDIO US-42》に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《MiNiSTUDIO US-42》を《このサウンド入力装置を使用》に設定します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。
本章で解決できない場合は、タスカム カスタマーサポート（巻末に記載）まで、下記のご使用環境と詳しい状況をお知らせいただけますようお願い致します。

ご使用環境

- パソコンメーカー :
- モデル :
- CPU :
- 搭載メモリ :
- OS :
- 使用アプリケーション :
- ウイルス対策ソフト :
- 無線LANの有無 :

それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

専用ソフトウェアをインストールできない。



1. OSの確認

お使いのOSとインストールしようとしているソフトウェアの対応OSが異なっている可能性があります。インストールしようとしているソフトウェアの対応OSを今一度ご確認ください。

2. 常駐ソフトの停止

アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合があります。常駐ソフトを終了し、再度インストールをお試しください。

本機を接続したがパソコンに認識されない。



1. 専用ソフトウェアのインストール

- 専用ソフトウェアをインストールしてください。
8ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご参照ください。

2. USBポートの差し替え

- 本機はUSB 1.1では動作しません。USB 2.0またはUSB 3.0のポートをご使用ください。
- 本機の接続は、USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。
- 上記の方法で解決しない場合、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

パソコンでオーディオを再生しても音が出ない。



Windows

- 「アプリケーションガイド」 - 「Windows Media Player」を参照して、各OSに合わせた設定を行ってください。

Mac

1. 全てのアプリケーションを終了し、アップルメ

ニューより《システム環境設定...》画面を開きます。

2. 《サウンド》を開きます。

3. 《出力》タブから《MiNiSTUDIO US-42》を選択します。

設定が完了しましたら、パソコンを再起動し、再生音をご確認ください。

また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合があります。お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各マニュアルをご参照ください。

音切れやノイズが発生する。



パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。パソコンの負荷を軽減させる方法を、下記にご紹介致します。

1. 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。

2. お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機のSettings panelにてバッファサイズ（レイテンシー）の設定を大きくすることをお試しください。（Windows のみ）

メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法を、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows の場合]

① ご使用のOS (Windows 10/Windows 8.1/Windows 7) に適した設定方法でコントロールパネルを開きます。

• Windows 10 は、Windows のスタートボタンから《コントロールパネル》をクリックし、コントロールパネルを開きます。さらに《システム》アイコンをクリックします。

• Windows 8.1 は、通常のスタート画面（メトロUI 画面）で右クリックし、《すべてのアプリ》をクリックします。さらに《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。

• Windows 7 は、Windows のスタートボタンから《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。

② 《システムの詳細設定》をクリックします。

③ 《システムのプロパティ》画面の《詳細設定》タブで、《パフォーマンス》枠の《設定...》をクリックします。

④ 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

[Mac の場合]

① アップルメニューより《システム環境設定...》

画面を開き、《省エネルギー》を選択します。

② 《コンピュータのスリープ》を《しない》に設定します。

③ 《ディスプレイのスリープ》を《しない》に設定します。

メモ

Mac OS のバージョン、またはMacによっては、この設定がない場合があります。

4. USBポートの差し替え

USBポートによっては本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

メモ

• その他のUSB機器は、接続せずにお試しください（USB キーボード・USBマウスは、接続しても構いません）。

• USB/ハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の（オンボードの）USBポートに接続してください。

仕様

定格

サンプリング周波数

44.1k/48k/88.2k/96kHz

量子化ビット数

16/24 ビット

アナログオーディオ入力定格

マイク入力（バランス、IN ①/IN ②）

コネクタ：

XLR-3-31

(1: GND、2: HOT、3: COLD)

φ6.3mm (1/4") TRS 標準ジャック

(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

入力インピーダンス：2.4kΩ

規定入力レベル：-65dBu (0.004Vrms)

(VOLUMEつまみ「MAX」時)

規定入力レベル：-20dBu (0.0775Vrms)

(VOLUMEつまみ「MIN」時)

ゲイン幅：45dB

インストールメント入力

(アンバランス、IN ①/IN ②)

(IN ①/IN ② 入力切り換えスイッチを「」に設定時)

コネクタ：φ6.3mm (1/4") TS 標準ジャック

(Tip : HOT、Sleeve : GND)

入力インピーダンス：1MΩ以上

ゲイン幅：45dB

外部マイク入力（プラグインパワー対応）

コネクタ：

3.5mm (1/8") 4極ミニジャック

3.5mm (1/8") ミニジャック

入力インピーダンス：5kΩ以上

ゲイン幅：45dB

外部入力端子

コネクター：3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
入力インピーダンス：5kΩ以上
最大入力レベル：+7.7dBV (2.427Vrms)

アナログオーディオ出力定格

ライン出力 (アンバランス、LINE OUT)

コネクター：RCAジャック
出力インピーダンス：200Ω以上
規定出力レベル：-10dBV (0.316Vrms)
最大出力レベル：+6dBV (1.995Vrms)

ヘッドホン出力

コネクター：
6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック
3.5mm (1/8") 4極ミニジャック
3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
最大出力：15mW + 15mW以上
(THD+N 0.1%以下、32Ω負荷時)

コントロール入出力定格

USB

コネクター：USB Bタイプ 4ピン
転送速度：USB 2.0 High Speed
(480Mbps)

DC IN 5V

コネクター：USB Micro Bタイプ

オーディオ性能

マイクアンプEIN (入力換算雑音)

-120dBu以下
(150Ω終端、VOLUMEつまみ「MAX」時)

周波数特性

IN **1**/IN **2** → LINE OUT、ヘッドホン出力
(6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック)

44.1kHz、48kHz時
20Hz：0dB/-1dB (JEITA)
20kHz：0dB/-1dB (JEITA)
20kHz：0dB/-3dB
(ヘッドホン出力、JEITA)

88.2kHz、96kHz時
20Hz：0dB/-1dB (JEITA)
40kHz：0dB/-1dB (JEITA)
40kHz：0dB/-3dB
(ヘッドホン出力、JEITA)

S/N比

100dB以上 (IN **1**/IN **2** → LINE OUT、VOLUME
つまみ「MIN」時、JEITA)

歪率

0.005%以下 (IN **1**/IN **2** → LINE OUT、1kHzサ
イン波、規定入力レベル、最大出力レベル、JEITA)

クロストーク

95dB以上
(IN **1**/IN **2** → LINE OUT、1kHzサイン波、JEITA)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト
(<https://tascam.jp/jp/>) ご確認ください。

Windows

対応OS

Windows 10 32ビット
Windows 10 64ビット
Windows 8.1 32ビット
Windows 8.1 64ビット
Windows 7 32ビット SP1以上
Windows 7 64ビット SP1以上
(Windows 8、Windows Vista および Windows
XP はサポート外)

対応パソコン

USB 2.0を装備した Windows 対応パソコン

CPU/クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上 (x86)

メモリー

2GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的
なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満た
ずパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。
同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様
や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac

対応OS

macOS High Sierra (10.13以降)
macOS Sierra (10.12以降)
OS X El Capitan (10.11以降)

対応パソコン

USB 2.0を装備したMac

CPU/クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

iOSデバイス

iOS 7以降のアップル製iOSデバイス

対応オーディオドライバー

Windows：ASIO 2.0、WDM
Mac：Core Audio
iOSデバイス：Core Audio for iPhone

一般

電源

パソコン時

USBバスパワー

iOSデバイス時

USB電源アダプター

(電圧5V、電流が700mA以上供給可能なもの) * 1

* 外付けバッテリーパック

(電圧5V、電流が700mA以上供給可能なもの) * 2

*1 USB電源アダプターは、iPad/iPhone 付属品を強く推奨します。iPod touch には、USB電源アダプターが付属されていません。iPod touch でご使用の場合は、別途Apple 純正のUSB電源アダプター(電圧5V、電流が700mA以上供給可能なもの) をご購入ください。

*2 外部バッテリーパックは、TASCAM BP-6AAを強く推奨します。他の外付けバッテリーパックやモバイルバッテリーをご使用の場合は、電圧5V、電流が700mA以上供給可能なものをご購入ください。

消費電力

1.5W

外形寸法

200 x 40 x 130mm

(幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含まず)

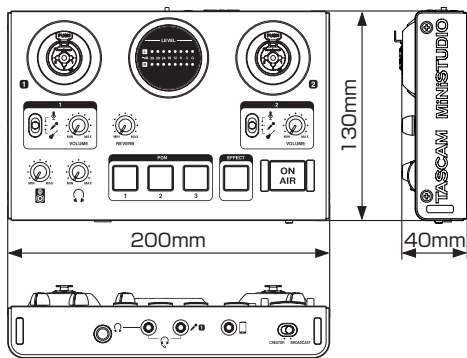
質量

500g

動作温度

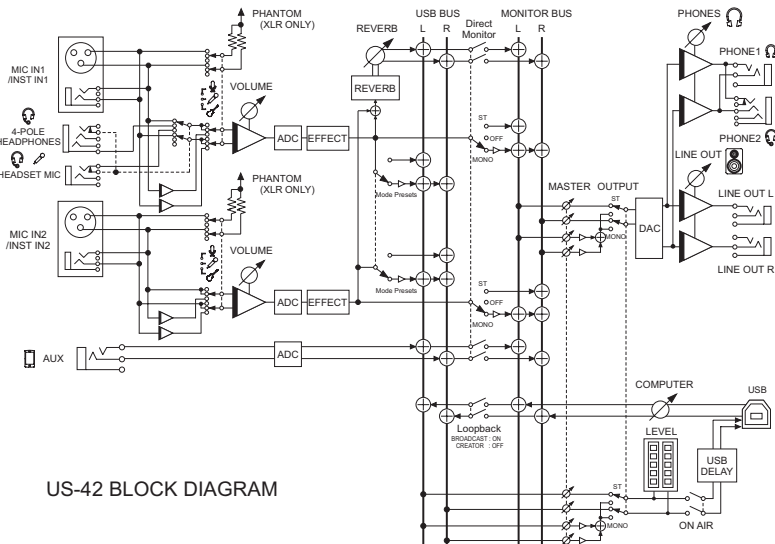
5 ~ 35℃

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



US-42 BLOCK DIAGRAM

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
- ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

- 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- メンテナンス
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- * この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- * 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

保証書

品名 および 形名	MiNiSTUDIO CREATOR US-42	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	見本	
	ご住所		

販売店	電話	()
-----	----	-----

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501/04-2901-1033